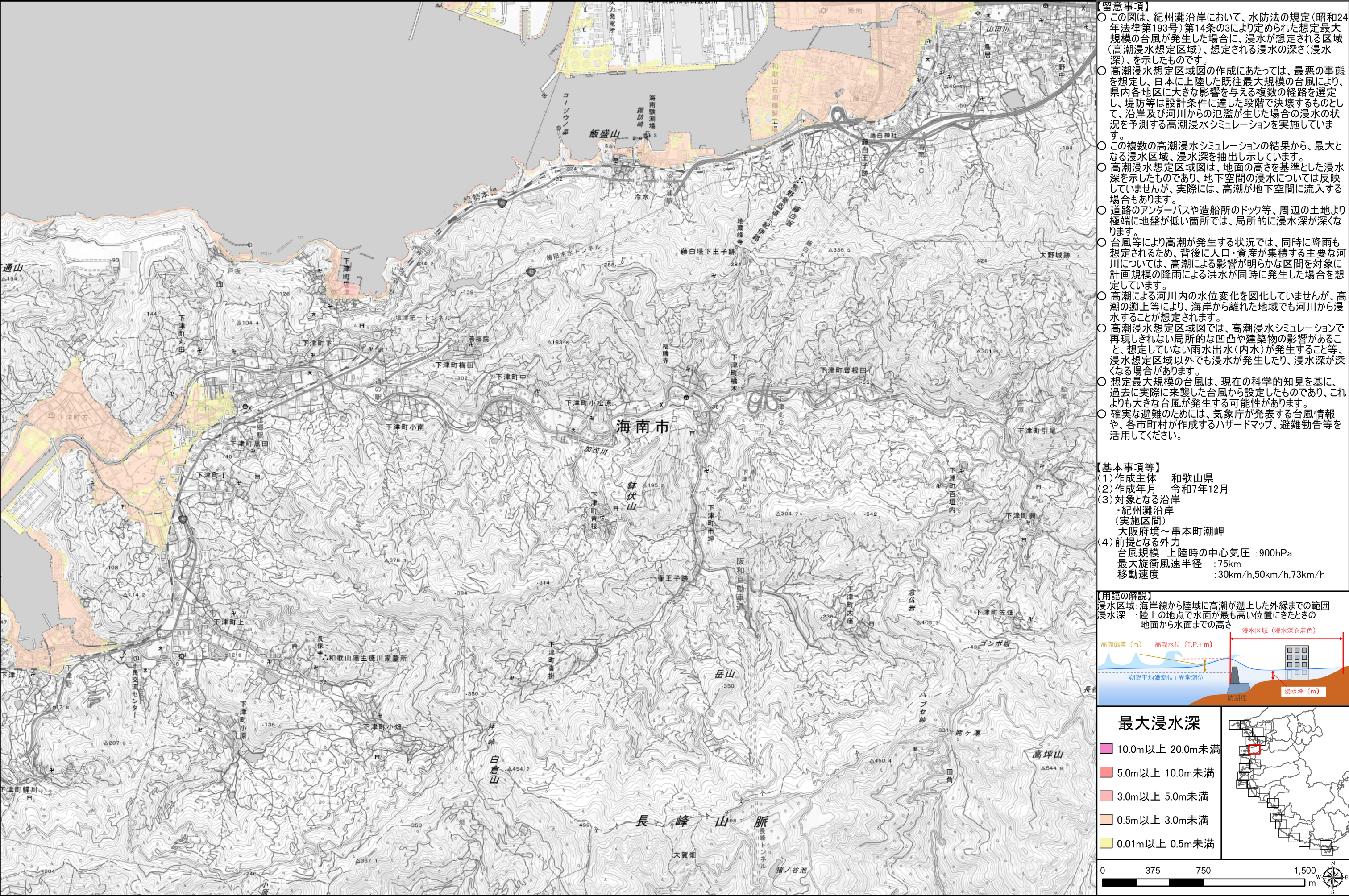
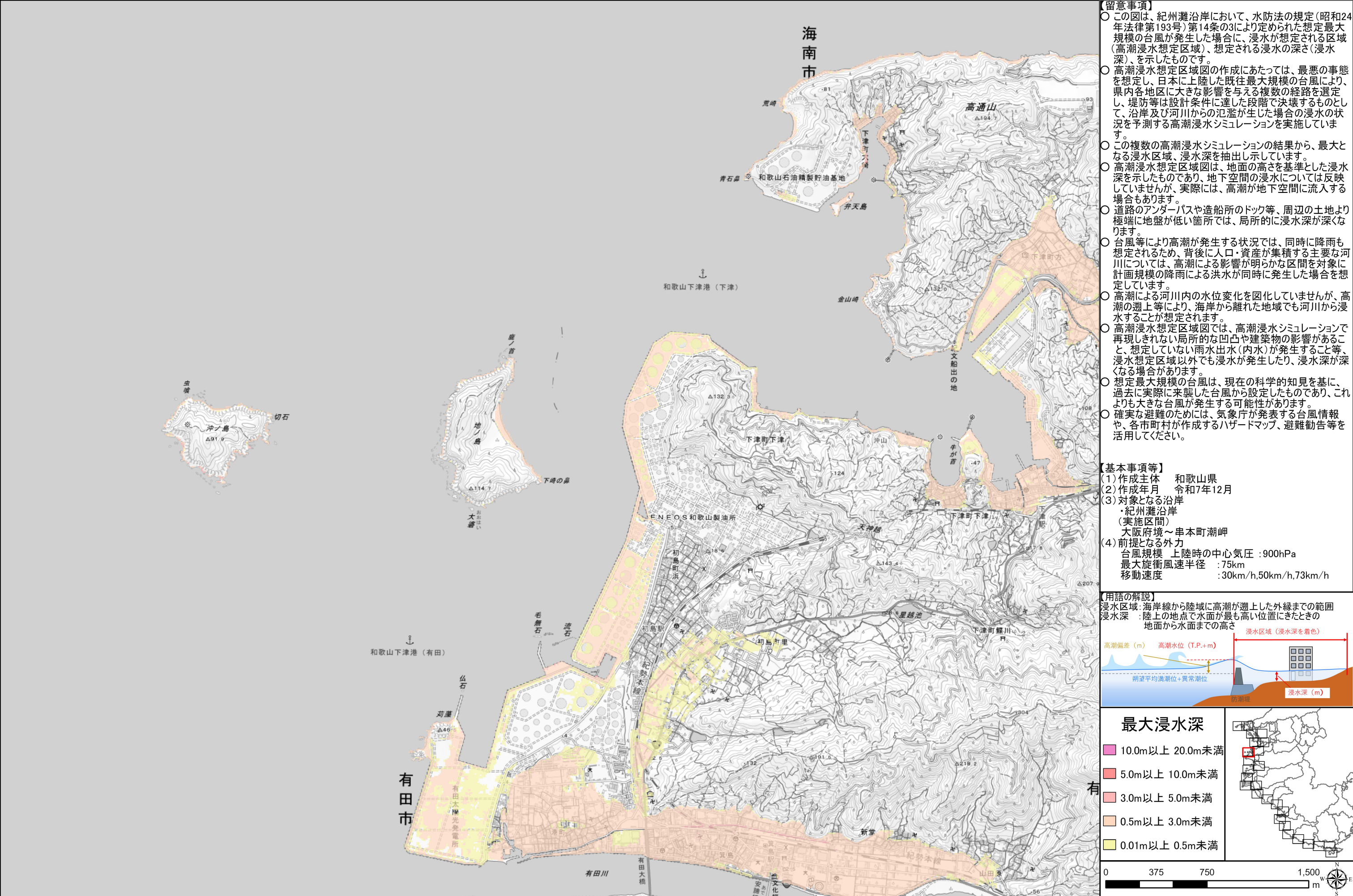
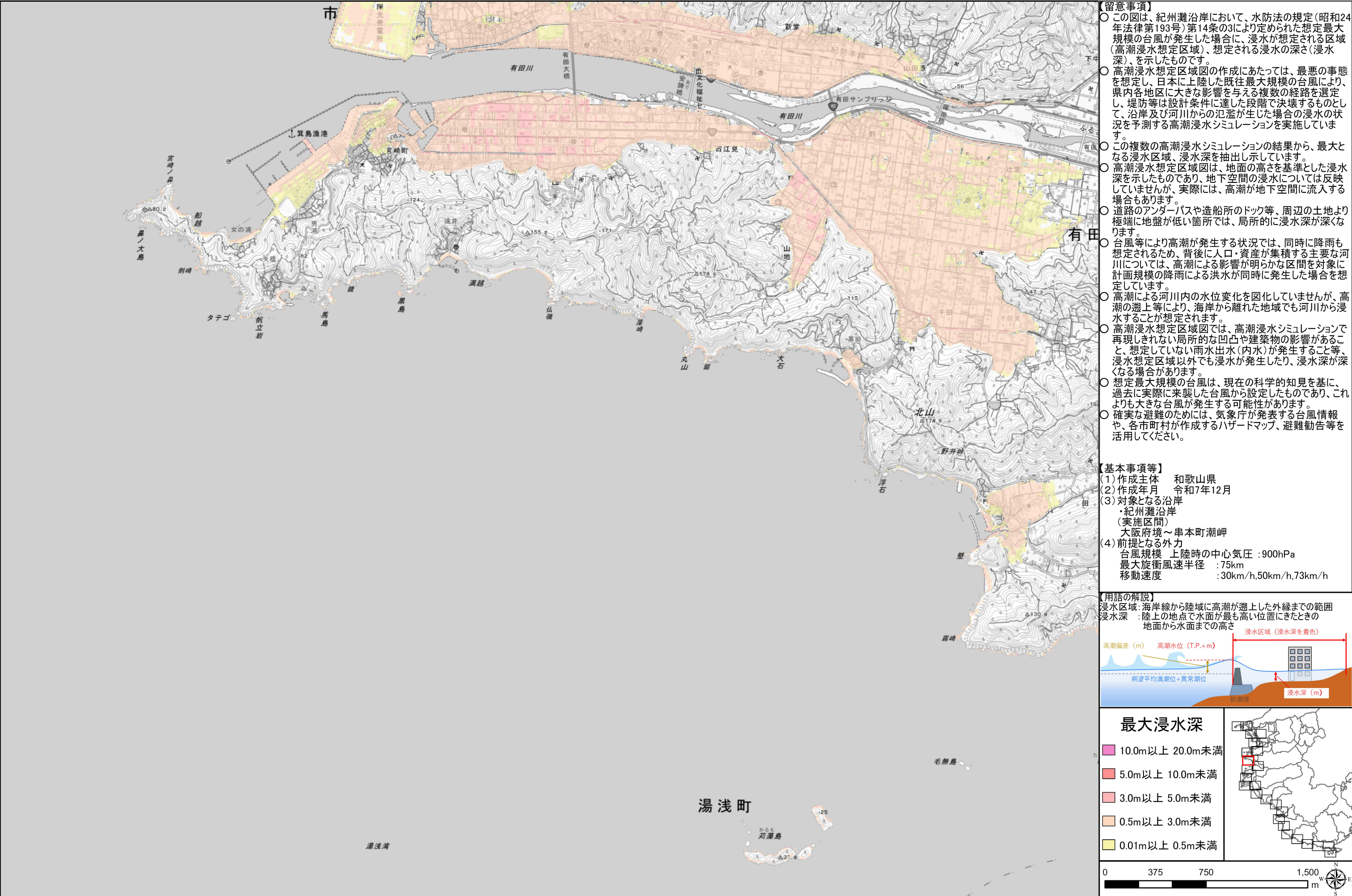




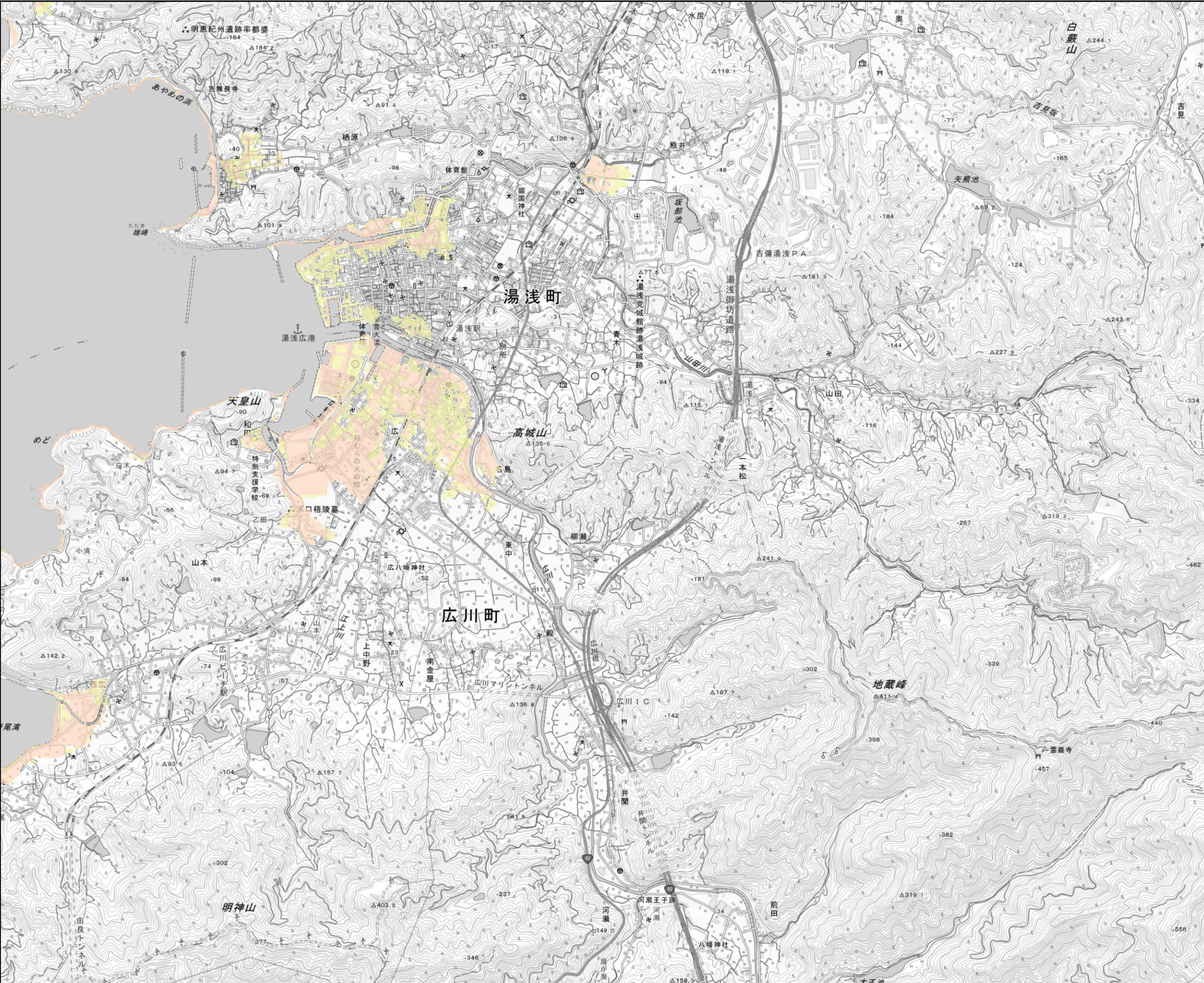












【留意事項】

- この図は、紀州灘沿岸において、水防法の規定（昭和24年法律第193号）第14条の3により定められた想定最大規模の台風が発生した場合に、浸水が想定される区域（高潮浸水想定区域）、想定される浸水の深さ（浸水深）、を示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大規模の台風により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を選定し、堤防等は設計条件に達した段階で決壊するものとして、沿岸及び河川からの氾濫が生じた場合の浸水の状況を予測する高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合もあります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドック等、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、背後に人口・資産が集積する主要な河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に計画規模の降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水（内水）が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- 想定最大規模の台風は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に来襲した台風から設定したものであり、これよりも大きな台風が発生する可能性があります。
- 確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町村が作成するハザードマップ、避難勧告等を活用してください。

【基本事項等】

- (1) 作成主体 和歌山県
- (2) 作成年月 令和7年12月
- (3) 対象となる沿岸  
・紀州灘沿岸（実施区間）  
大阪府境～串本町潮岬
- (4) 前提となる外力  
台風規模 上陸時の中心気圧：900hPa  
最大旋衝風速半径：75km  
移動速度：30km/h,50km/h,73km/h

